

御遠忌NEWS

金沢教区宗祖親鸞聖人

七百五十回御遠忌

讃仰 講演会 開催



12月6日、金沢真宗会館ホールにおいて、相馬豊氏（白山市相川町道因寺）にご出講いただき「讃仰講演会」を開催しました。当日は、師走に入つての荒天にも関わらず約90名の参加をいただきことができました。相馬氏には金沢教区御遠忌テーマ「よろこびはいつもここにー今、親鸞さまに出あう時ー」に沿つて1時間半にわたりお話をいただきました。

近年、コロナ感染症拡大の影響もあつて仏事も様変わりしてお念仏の意味あいが変わり難くなつてきました。「このままでは、真宗門徒は絶滅危惧種になりかねません」との強いお言葉がありました。

よきひと法然上人との出会いによつて親鸞聖人は「お念仏申してください」とのお言葉を後世の私たちに届けられました。ただ念

仏申してください。私にとつてのこと一つと選択され、伝えられました。結びは「御遠忌という大きなご縁を通して親鸞聖人から贈られた言葉に出あい、人に出あい、自分に出あう新たな機縁としていただきたい」との力強いお言葉でした。

※今回の讃仰講演会は、東別院聞法会と金沢真宗学院同窓会との共同開催で行いました。

北村 秀樹（東別院聞法会）

金沢教区宗祖親鸞聖人

七百五十回御遠忌讃仰事業

讃仰 講演会

日時 3月12日（日）

午後2時から

会場 金沢真宗会館ホール

講師 一楽 真氏

（大谷大学学長）

講題 念仏もうす生活

問合せ 金沢別院

☎26116432

共催 東別院聞法会

真宗学院同窓会

御遠忌NEWS

内陣での所作法に親しもう！

金沢教区「掛役かかけやくの会」では、5月にお迎えする教区御遠忌の讃仰事業として、昨年こぞの9月10日と12月17日の両日、内陣での所作法で困った経験や不安を感じたという声にこたえるため、「内陣の所作法に親しもう！」という研修会を開催した。講師に当会から北上光士氏（第四東組 源正寺住職）、女性参加者のサポートとして池崎方子氏（第四下組 正林寺）を迎え、経験未経験を問わず、金沢別院本堂の内陣で所作法に親しんだ。両日ともに特に多くの女性が参加し、装束を付けての内陣所作法を体験し、確認する大切な機会となった。